

# Create

2017. 10. 24  
No.1

10月4日（水）に第1回全校授業研究会（高等部授業提示）が行われました。ここでは、授業研究会のグループ協議の中で先生方から出していただいた意見の一部を紹介します。

高等部2・3年職業・生活学習コースAグループ 生活単元学習（進路）

「アンテナショップの運営を先輩に教えよう」「アンテナショップの運営を覚えよう」

高3生徒1名、高2生徒2名、 授業者：樋渡 峻

アンテナショップの運営は、職業・生活学習コースに所属する生徒が担当しており、在庫確認、製品の補充、チラシ配り、販売等の活動を行っている。一連の活動を繰り返し設定し、課題設定や振り返りの活動を丁寧に行うことで、生徒自ら成長していることを実感し、自己理解を高めることができる活動である。

この日の授業ではアンテナショップでのチラシ配りの様子を、VTRを見たりロールプレイをしたりしながら活動の振り返りをし、次回のチラシ配りの活動に向けて目標を立てる学習を行った。



## ○本単元、本時の目標（学習指導案より抜粋）

|     | 本単元での期待する姿  | 本時の目標                           | 本時の目標を理解するための手立てやアプローチ  |
|-----|---|---------------------------------|---|
|     |   |                                 | 本時の目標を達成するための手立て  |
| Aさん | <ul style="list-style-type: none"> <li>客に販売場所を伝えながらチラシ配りを行ったり、客に会計場所を伝えたりする。</li> <li>先輩に次の活動を伝えながら運営活動を進める。</li> </ul>                         | 自分の経験を交えながらチラシ配りについて先輩にアドバイスする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「先輩にアドバイスを2つする」という目標が書かれたカードを掲示し、単元目標や振り返りシートを確認しながら、先輩としての活動意欲を高める。</li> <li>ロールプレイやビデオ視聴の時間を十分に設け、アドバイスに必要な情報を提示する。</li> </ul> |
| Bさん | <ul style="list-style-type: none"> <li>次に行うことが分かって、教師に伝える。</li> <li>バス降車の前に支払いの準備をして、手帳を提示しながら、料金を1人で支払う。</li> </ul>                            | ロールプレイで、客に近づいて、チラシを渡す。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「客に近づいて、チラシを渡す」という目標が書かれたカードと共に、良い例と悪い例を写真やイラストなどを提示する。</li> <li>ロールプレイ後に出た良い点や課題点をカードにして掲示する。</li> </ul>                        |
| Cさん | <ul style="list-style-type: none"> <li>先輩や友達のまねをして、「おねがいします」など簡単な言葉を掛けながら、客にチラシを渡す。</li> <li>教師の指示を聞いて、整理券を受け取ったり手帳を見せながら料金を支払ったりする。</li> </ul> | ロールプレイで、客にチラシを渡し、深く礼をする。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>「れい」という目標を書かれたカードと共に、良い例を写真やイラストで提示する。</li> <li>繰り返しの活動する機会と称賛される機会を多く設ける。</li> </ul>  |

## ○指導助言（横手支援学校教諭兼教育専門監 佐々木義範先生より）

- アンテナショップ時のチラシ配りは技術面だけでなく、「受け取ってもらえないこともあること」「お客には様々な人がいること」等の指導も必要になる。その場面で先輩のAさんの昨年の体験談を聞く場面があってもよい。このようなことを先に指導しておかないと、チラシを受け取ってもらえずに怒ったり、やる気をなくしたりする生徒も出てくる。
- Bさんについては、なぜ近くにいったらチラシを渡すのかを言語化して、「渡すために」「もらってもらうために」という言葉を書いたり読んだりして、活動への理解を深めることが必要。

○グループ協議から

協議題：「すべての児童生徒が、学習目標や課題を理解し活動に取り組むための支援について」

|     | 生徒の様子<br>(☆達成できていた点、▲達成できていなかった点)  | 教師の手立てやアプローチ<br>(☆良かった点、●改善点と改善案)   |
|-----|--|---|
| Aさん | ☆後輩2人へ、ポイントをしっかりとおさえたアドバイスができていた。<br><br>☆学習目標を理解して活動に取り組み、自己評価もできていた。                                   | ☆生徒個々の <u>学習目標を、他の生徒も分かるように提示</u> したことで、生徒全員が目標を共有し理解できた。<br>☆実習ノートの活用（昨年度の日誌を使って、自分の経験を生かして、アドバイスができた）<br>☆「アドバイスを2つ」という目標を具体的に提示したことで目標をもって活動に取り組むことができ、それにより自己評価もしやすくなった。  |
|     | ▲後輩へのアドバイスとして、もっと活躍できる活動があってもよい。   | ●活動内容の設定<br>・ <u>チラシの渡し方を後輩に実演して見せる</u> などの活動を設定する。   |
| Bさん | ☆学習目標を理解してロールプレイの活動に取り組んでいた。ロールプレイは回を重ねるごとに、目標をより意識し、良くしようとする姿が見られた。<br><br>☆アドバイスをもとに次回の目標を立てることができていた。 | ☆ <u>ロールプレイ→VTRでの振り返り→ロールプレイの学習活動の組み立て（やってみる→振り返る→改善の繰り返し）</u> が理解しやすかった。<br>☆ <u>ロールプレイをVTRで振り返る活動は、生徒が自分の様子をすぐ見て振り返ることができ、効果的だった。</u><br>☆ <u>VTRの活用の仕方が分かりやすかった（短く編集、繰り返し再生、即時再生）。</u><br>☆板書で、生徒個々の目標、アドバイスなどが明確に示されており、分かりやすかった。 |
|     | ▲生徒が自分で考えて目標を立てることはできなかった。   | ●学習目標の設定の仕方<br>・生徒の言葉を引き出せるように、目標設定の活動にもっと時間を取り、丁寧に行う。  |
| Cさん | ☆「礼の仕方を良くする」という目標を理解して活動に取り組んでいた。<br><br>▲礼の深さの程度の理解が難しいようであった。  | ☆学習目標（礼の仕方）をイラストで提示したことで、目標の理解につながった。<br>☆良い礼とそうでない礼の演示が効果的であった。  |
|     | ▲本時の振り返りと次時の目標の設定が難しいようであった。   | ● <u>どのようにできたら良いのか、自己評価できるための支援</u><br>・礼がどうなっていれば良いのか、礼の深さの <u>違いが分かる、イラストなどを提示</u> する。<br>● <u>目標設定の妥当性</u><br>・「笑顔で」「相手の顔を見て」などの、 <u>量的な程度の伴わない、分かりやすい目標</u> に代える。<br>●学習の振り返りとまとめ<br>・まとめも文字だけでなく、写真や映像などを使ってまとめる。                |

●3人全員に対して共通する改善点・改善案

- ・生徒が自分でチラシ配りの目標を決められるように、単元の始めに、チラシを配る際に気を付けるポイントとして何点か提示し、その中から選択できるようにする。
- ・実際のチラシ配りでは、お客さんは常にもらってくれるとは限らない。そのあたりを想定した実際的なロールプレイを行う。

☆次回の全校授業研究会は11月9日（木）に行います。小学部遊びの指導の授業提示となります